

パソコンで茶栽培履歴を簡単入力できるプログラム

[要約] Excel 2000上で作動する「茶栽培履歴入力プログラム」は、プルダウンメニューで圃場、日付、作業内容を選択することにより、ほとんどキー操作することなく、栽培履歴の入力と出力が行え、パソコンで管理できる。

農業総合センター・茶業指導所・茶振興担当

[実施期間] 平成15年度

[部会] 農産

[分野] 新たな研究分野

[予算区分] 県単

[成果分類] 普及

[背景・ねらい]

農産物の安全性や品質に対して、消費者の関心が集まっていることから、トレーサビリティシステムの導入が進められている。茶においても、平成15年度一番茶から、荒茶共同販売会（全農しが主催）に出荷する場合は、定められた様式に基づく栽培履歴を提出するよう、取り決められた。そこで、生産者の栽培履歴への記帳や管理における負担を軽減するため、これらをパソコン上で迅速かつ容易に行えるプログラムを開発する。

[成果の内容・特徴]

本プログラムは、Excel 2000上のVBA（Visual basic for applications）で作成されており、Excel 2000（Windows98）がインストールされているパソコンで利用できる。

本プログラムは、生産者、圃場、農薬、生産資材及び作業内容の入力処理機能、並びに栽培履歴の出力処理機能を有し、トレーサビリティシステムの内、生産者が手作業で行っていた栽培履歴の作成処理を支援するものである（図1）。

生産者、圃場、農薬、生産資材情報を予め登録しておく、プルダウンメニュー等で圃場、日付、作業種別、作業の詳細内容を選択して、圃場別に栽培履歴を入力することができる（図2）。

栽培履歴の出力は、圃場を選択して印刷ボタンを押すだけで行え、定められた様式のもので出力される（図3）。

本プログラムは、一生産者の所有する全圃場の栽培履歴情報を、1つのファイルで管理することができ、取扱いが容易である。

[成果の活用面・留意点]

本プログラムのファイルサイズは、初期状態で約350キロバイトであるが、栽培履歴情報の蓄積とともに、ファイルサイズが増大するので注意する。

本プログラムの無断転載、転用を禁止する。

